

科目名	ビジネスプレゼンテーション 1							年度	2026
英語科目名	Business Presentation 1							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	小松雅樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロスポーツチーム		
【科目の目的】 聞き手を納得させるためのコミュニケーションの特徴や具体的な手法を理解し、実務内において活用出来るようになることを目的とします。									
【科目の概要】 自分を取り巻く諸事情を理解し、相手に伝えていくための言語的・数学的思考法を習得し、社会人に求められるコミュニケーションスキルの向上を目指します。									
【到達目標】 到達目標 A：効果的かつ効率的なプレゼンテーションを行うための基礎知識を身に付ける。到達目標 B：問題や課題への解決方法や対処方法を論理的に考えることができる。到達目標 C：「自己紹介」や「商品説明」など、情報提供のための具体的なプレゼンテーションスキルを身に付ける。到達目標 D：プレゼンテーションを通して、新しいトピックについての理解を向上させ、自らの知識やスキルを増やすことが出来るようになる。到達目標 E：聞き手に関心を持たせ、意思決定や行動に繋がるような説得力のあるプレゼンテーションが出来るようになる。									
【授業の注意点】 ・遅刻・欠席については学校に必ず事前連絡をするようにしてください。無断での遅刻・欠席は成績評価に影響するため注意してください。・授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は、授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止します。・授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じることがあります。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	限られた時間の中で相手 が聞きたい内容を重視し つつ、要点を押さえた説 得力あるプレゼンテー ションが出来た。		限られた時間の中で重要 なことから伝えていく効 率的なプレゼンテーショ ンが出来た。					到達目標の達成度として 不十分	
到達目標 B	正確な前提と根拠に基づ いて、問題や課題への解 決方法や対処方法を論理 的で説得力のある発言が 出来た。		正確な前提と根拠に基づ いて、問題や課題への解 決方法や対処方法を論理 的に考えることが出来 た。					到達目標の達成度として 不十分	
到達目標 C	新しいアイデアや課題の 解決策の提案など、専門 的な情報や知識を提供す るためのプレゼンテー ションスキルが身に付い た。		「自己紹介」や「商品説 明」など、情報提供のた めの基本的なプレゼン テーションスキルが身に 付いた。					到達目標の達成度として 不十分	
到達目標 D	プレゼンテーションを通 して、新しいトピックに ついての理解を向上させ るだけでなく、自分の知 識やスキルを増やすこと が出来た。		プレゼンテーションを通 して、新しいトピックに ついての理解を向上させ ることが出来た。					到達目標の達成度として 不十分	
到達目標 E	聞き手に関心を持たせ、 さらに相手の意思決定や 行動に繋がるような説得 力のあるプレゼンテー ションが出来た。		聞き手に関心を持たせる ようなプレゼンテーショ ンが出来た。					到達目標の達成度として 不十分	
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネスプレゼンテーション 1			年度	2026	
英語表記		Business Presentation 1			学期	講義	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	イントロダクション	プレゼンテーション能力の重要性の理解	1	プレゼンテーション能力の理解①	明確で効果的な情報伝達に求められる言語スキルの理解	2	
			2	プレゼンテーション能力の理解②	プレゼンテーション内容の基本的構成の理解		
			3	プレゼンテーション能力の理解③	プレゼンテーションに必要な自己表現する能力の理解		
2	プレゼンテーション	プレゼンテーションを成功させるポイントの理解	1	プレゼンテーションのポイント①	プレゼンテーションの対象聴衆が求める話題の理解	2	
			2	プレゼンテーションのポイント②	情報のストーリー化に求められる組立スキルの習得		
			3	プレゼンテーションのポイント③	視覚情報効果の理解と活用方法の習得		
3	プレゼンテーション	プレゼンテーションの種類についての理解	1	プレゼンテーションの種類①	提案・提示を求める主張型プレゼンテーションの理解と習得	2	
			2	プレゼンテーションの種類②	感想・推論を含めた考察型プレゼンテーションの理解と習得		
			3	プレゼンテーションの種類③	質疑・確認のための質問型プレゼンテーションの理解と習得		
4	プレゼンテーション	プレゼンテーションの目的	1	プレゼンテーションの目的①	プレゼンテーションによる情報伝達効果についての理解	2	
			2	プレゼンテーションの目的②	プレゼンテーションによる説得効果とその影響についての理解		
			3	プレゼンテーションの目的③	プレゼンテーションによる啓発効果の理解		
5	プレゼンテーション	視覚的の効果の理解	1	視覚的表現の効果①	視覚的情報による情報整理と強調方法の理解と習得	2	
			2	視覚的表現の効果②	視覚的表現の活用による表現力向上と表現方法の習得		
			3	視覚的表現の効果③	プレゼンテーション後の記憶と理解の促進効果の理解		
6	プレゼンテーション	視覚誘導方法の理解	1	視覚誘導方法①	ポインター・ハイライトによる視線誘導の理解と習得	2	
			2	視覚誘導方法②	写真・動画などの活用による視線誘導の理解と習得		
			3	視覚誘導方法③	図表やイラストの活用による視線誘導の理解と習得		
7	プレゼンテーション	視覚と言語の組合せ効果の理解	1	視覚と言語の組合せ効果①	視覚的情報によるデータ理解の促進効果の理解	2	
			2	視覚と言語の組合せ効果②	印象や関心を高めるための視覚的情報の活用方法の習得		
			3	視覚と言語の組合せ効果③	分かりやすさのための視覚・言語の組合せ効果の理解と習得		
8	プレゼンテーション	メッセージの具体化方法の理解	1	メッセージの具体化①	根拠となる事例やデータの提示の活用方法の習得	2	
			2	メッセージの具体化②	視覚的情報の活用方法の理解と習得		
			3	メッセージの具体化③	数値化情報の活用方法の理解と習得		
9	プレゼンテーション	プレゼンテーション環境の理解	1	プレゼンテーション環境の確認①	機器関連の技術的トラブルの理解と対処方法の習得	2	
			2	プレゼンテーション環境の確認②	プレゼンテーションの施設条件に関する確認と準備の理解		
			3	プレゼンテーション環境の確認③	時間・スケジュール・対象聴衆に関する確認と管理の理解		
10	プレゼンテーション	プレゼンテーション効果の高め方の理解	1	プレゼンテーション効果の向上①	プレゼンテーション目的の明確化と聴衆の求める内容の理解	2	
			2	プレゼンテーション効果の向上②	ストーリーテリングの活用と情報伝達力の強化の理解		
			3	プレゼンテーション効果の向上③	明確な言語表現と視覚情報の活用方法の習得		
11	プレゼンテーション	スライドの活用方法についての理解	1	スライドの活用①	図形表現による情報視覚化の効果の理解と活用	2	
			2	スライドの活用②	発表内容の構造化と論理的展開の理解と習得		
			3	スライドの活用③	適切な情報量の調整と論理的なスライド文脈の理解と習得		
12	プレゼンテーション	スライド創りのポイントについての理解	1	スライド作成のポイント①	シンプルで一貫したスライドデザインの適用とその具体的スキルの習得	2	
			2	スライド作成のポイント②	視覚的効果の活用による説明力向上の理解と具体的方法の習得		
			3	スライド作成のポイント③	スライドテーマの設定とコンテンツの簡素化の理解と具体的方法の習得		
13	プレゼンテーション	スライドデザインについての理解	1	スライドデザインに関する留意点①	スライドデザインに求められるテキストと図形配置の理解と習得	2	
			2	スライドデザインに関する留意点②	適度な視覚的要素の活用方法の理解と習得		
			3	スライドデザインに関する留意点③	統一感のあるプレゼンテーションのフォント、色、レイアウトなどの理解と習得		
14	プレゼンテーション	シナリオとストーリーラインについての理解	1	シナリオとストーリーライン①	オーディエンスが期待する情報の把握と特性の理解	2	
			2	シナリオとストーリーライン②	提供する情報の論理的構成についての理解と具体的方法の習得		
			3	シナリオとストーリーライン③	魅力的なプレゼンテーションのためのストーリー性の理解と具体的方法の習得		
15	授業総括	授業における重要点の復習	1	プレゼンテーションの重要点①	プレゼンテーションの目的と求められるスキルの理解	2	
			2	プレゼンテーションの重要点②	視覚的効果と言語表現の組合せの効果の理解と復習		
			3	プレゼンテーションの重要点③	魅力あるプレゼンテーション作成のための留意点と復習		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等